

地区名	釜戸地区	番号	1
タイトル	瑞浪市の「移住促進事業」に関する件		
ご意見の内容			
<p>まちの「道の駅検討会」のワーキンググループとして「かまど空き家活用・移住推進チーム」を立ち上げた。</p> <p>市でも移住促進に関して様々な事業が展開されているが、「空き家等改修補助金」の交付についてはハードルが厳しくて容易に活用できず、緩和してもらいたい。賃貸契約で移住を希望される方が多いが、現在の市の制度では住宅取得が前提となっているものが多く、賃貸まで拡充していただきたい。移住者に対する市のフォロー体制の現状と今後についてお伺いしたい。</p>			
市長の回答	担当課	市民協働課	
<p>空き家等改修補助金の交付要件についてはご指摘のとおりハードルが高いため、耐震補強工事の実施を必須要件から除外し、また市内事業者による改修工事のみが補助対象であったものを市外事業者の工事も補助対象とするなど、大幅に見直しを行った。他にも見直しを行いながら、効果のある移住・定住施策をしていきたいと考えている。</p> <p>市では平成28年度から令和2年度まで「若者世帯民間賃貸住宅入居奨励金」として月額1万円（最大24ヶ月分）の補助を行ったが、活用実績が乏しく、定住促進に効果があったとは言い難かったため令和2年度をもって終了した。移住相談をする方や空き家物件の問合せをする方の多くは賃貸物件を希望されており、空き家バンクの賃貸物件の登録増加に取り組んでいきたいと思う。</p> <p>移住後のフォロー体制については確立できていないのが現状である。地域と連携を取りながら移住後のフォローについて考えていきたい。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	2
タイトル	釜戸町の諸問題について①		
ご意見の内容			
<p>(1) メガソーラーに関して 山を切り開いての開発に対して、規制の網をかいくぐる悪徳な中国の業者がいると、岩国市での報道を聞きました。業者の倒産等で放置され、10年、15年後に大きな廃棄物となった場合、周りの地権者に大変迷惑が掛かります。また、今後、耕作放棄地や代替わりした山の所有者が、どんどん土地を手放し、その多くがメガソーラーになってしまうと、土地の保水力も弱くなり、大きな災害の元になることが危惧されます。この様なメガソーラーに対する対応について、どのようにお考えでしょうか。また、今後、より規制を厳しくする等の対応をお考えでしょうか。</p> <p>(2) 東濃厚生病院、土岐市立総合病院の統合移転に関して これまでより大きな病院が遠方になることへの不安の声を、最近、よく聞きますので、交通アクセスの整備を切に願います。</p> <p>(3) 史跡の整備に関して 釜戸町下街道にはたくさんの史跡が残っています。中でも中切の旗本馬場氏の陣屋跡や宿の天徳古墳群は歴史的にも貴重なものですので、保存、整備をお願いしたい。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 健康づくり課 スポーツ文化課	
<p>(1) 市では、一定規模以上の太陽光発電事業に対し条例を定めており、排水施設や造成工事などの防災計画についても、県の基準に基づく審査を行い、指導している。太陽光発電の事業は国策として進められており、メガソーラーとなると管轄が国や県となる。市の条例により太陽光事業を規制することは難しく、現時点において規制を厳しくする考えはないが、今後も引き続き、条例に基づいた対応をするとともに、国の機関である中部経済産業局とも連携した対応を行っていく。</p> <p>(2) 交通アクセスなど新病院の利便性の向上については、まずは運営を担うJA岐阜厚生連にお願いしたいと考えている。市民の新病院への交通アクセスは最重要課題であると認識し、JA岐阜厚生連の対策とともに市としてできることは何かしっかり検討していく。</p> <p>(3) 釜戸町にとっては貴重な史跡であるが、整備等のためには発掘調査等を行って陣屋や古墳がつくられた時代や保存状態、範囲等を正確に確認し、整備の可否や内容等を判断するなどの様々な準備が必要となってくる。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	3
タイトル	釜戸町の諸問題について②		
ご意見の内容			
<p>(4) 釜戸道の駅に関して 町民との会議をもって話し合う場が欲しいです。人口が急減する中で新しい道の駅が町の魅力発信の核となる施設になればと考えます。</p> <p>(5) まちづくり推進協議会組織に関して 将来的にどのような組織にするかお考えをお聞かせください。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 市民協働課	
<p>(4) 区長会が中心となり様々な意見集約を進めていただいている。積極的にご参加いただき、ご意見をいただきたいと思う。</p> <p>(5) 夢づくり地域交付金の原点は釜戸町にある。地域の皆さんが自分たちで判断して自分たちで事業をする、そのために必要な予算として夢づくり地域交付金を始めた。市として今後も集落支援員や地区担当支援職員の配置といった人的な支援や夢づくり地域交付金交付などの財政的な支援によりまちづくり活動の支援を行っていく。</p> <p>まちづくり推進協議会組織は、「地域が抱える課題の解消や活性化は、その地域に住み、その地域を最もよく知る住民が、自分たちで取り組むことが望ましい」との考えからできたものである。市も助言、指導などの形でお手伝いしていきたいと考えるが、どのような取組が必要なのか地域の皆さんで話し合っただき、釜戸町が目指す将来像について考えていただければありがたい。</p>			

地区名	釜戸地区	番号	4
タイトル	国道19号瑞浪恵那道路沿線の土地利用および 県道65号線（県道恵那御嵩線）の改良について		
ご意見の内容			
<p>国では国土利用計画、県では県土利用計画、市は市の土地利用の計画を作成する。これらがあって初めて第7次瑞浪市総合計画という流れになり、土地利用により様々な事業が計画されるのではないかと。</p> <p>市として釜戸駅及び瑞浪恵那道路沿線の土地利用についてどのように考えているか。農地としてそのまま残していくのであれば農地活用する農業施策が必要であり、駅周辺を住宅地とするならば先行投資して上下水道を完備することが必要であり、工業団地とするならば計画を早急にお示しいただきたい。</p> <p>道の駅を契機に地域活性化を図るため、国道19号瑞浪恵那道路に併せ、釜戸町内の南北の基盤道路である県道65号線の整備が必要であると考えます。第7次瑞浪市総合計画では、道の駅1つではなく全体の計画として挙げていく必要があるのではないかと。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 土木課	
<p>道の駅だけではなく、その周辺の整備を進めなければならない。令和5年度に瑞浪市都市計画マスタープランの見直しを図ることとしており、道の駅計画地周辺の土地利用等を含め、釜戸町における土地利用方針を示していきたい。特に道の駅計画地周辺は、国道19号瑞浪恵那道路沿いで唯一ストック効果を果たせる場所であることから、市として明確な土地利用方針を示した上で、周辺整備を進める必要があると考えている。</p> <p>併せて県道65号線の整備については、瑞浪市にとっては重要な路線であり、県に対して現道拡幅の要望活動を行っている。地元からも要望の多い県道65号線の現道拡幅について、今後も県に要望を行っていく。</p>			